



北海道・大雪山



大雪山の豊かな自然環境を大切に
生物の多様性を維持するためにも
外来生物に対する正しい知識を持ち
できることから行っていくことが
自然で暮らす生きものたちにとっても
望ましいことなのです

上川自然保護官事務所

〒078-1741
北海道上川郡上川町中央町98-4
tel 01658-2-2574
fax 01658-2-2681

東川自然保護官事務所

〒071-1423
北海道上川郡東川町東町1-13-15
tel 0166-82-2527
fax 0166-82-5086

上士幌自然保護官事務所

〒080-1408
北海道河東郡上士幌町字上士幌東3線235-33
tel 01564-2-3337
fax 01564-2-2933

<http://hokkaido.env.go.jp/>

大雪山の 生きものと 外来生物

外来生物の正しい知識



環境省北海道地方環境事務所

大雪山とそのまわりの地域には 色々な生きものたちがすんでいます。

「北海道の屋根」といわれる大雪山は、旭岳をはじめとした山々の集合です。

アイヌの人々は古くから「カムイミタラ(神々の遊ぶ庭)」と呼び崇めてきました。

複雑な地形が生み出す景観、亜高山帯、高山帯の植物に恵まれ

いろいろな場所に植物群落やお花畑がみられ、中には貴重な高山植物が含まれています。

また、動物や昆虫も豊富で特異な生態系を形成しています。

その雄大さから国立公園にも指定されています。



大雪山には近年もともとそこには
生息していなかった動植物が
侵入し、外来生物として
確認されているんですよ。



いったいどこから
入ってきたのかな。
セイウオオマルハナバチや
セイウタンポポも
最近ふえたような…。

大雪山にはこんなにキレイな高山植物が咲きます。



チングルマ



キバナシャクナゲ



エゾコザクラ



エゾヤマリンドウ



エゾノツガザクラ



セイヨウオオマルハナバチ

人間が食糧生産のために 輸入した外来種のハチ。

毛が長くまるまると大きなハチが花にもぐりこみ蜜や花粉を集めている姿がよくみられます。おそらく多くがマルハナバチの仲間だと思います。

マルハナバチはもともと北海道に11種ほど生息していますが、1992年頃から温室のトマトやナスなどの受粉を効率化することを目的にヨーロッパ原産の「セイヨウオオマルハナバチ」の輸入が盛んに行われるようになりました。

セイヨウオオマルハナバチの生命力、繁殖力は

強く、温室から出てしまった個体が野生化し分布を拡大してしまっているのです。特にここ最近、急増し大雪山系に近い地域でも普通にみられるようになってしまいました。

旭岳・黒岳周辺、士幌町周辺ではセイヨウオオマルハナバチの自然繁殖をさせないために監視活動や捕獲など地道な活動をしています。



在来種との見分け方

セイヨウオオマルハナバチとよく似たエゾオオマルハナバチとの見分け方は「おしりの色」です。セイヨウオオマルハナバチはおしりの先端は真っ白で、エゾオオマルハナバチはおしりの先端がオレンジ色です。



エゾオオマルハナバチ



セイヨウオオマルハナバチ

これだけ知ってあげば
セイヨウオオマルハナバチは
判別できますよ。



大雪山の代表的な外来生物たち。

セイヨウタンポポ

登山などで人為的に 入ってきた植物。

セイヨウタンポポは在来種のものとは比べ開花時期が若干遅く、夏まで咲いているものもみられます。

北海道にもエゾタンポポという在来種がありますが、最近ではセイヨウタンポポにおされ、みつかるのも困難な種になってしまいました。

大雪山では、もともとセイヨウタンポポは生育していませんでしたが、環境の変化により2000年頃より確認されるようになり、現在では姿見の池にある避難小屋周辺でもその姿がみられるまでになり

ました。原因の一つが登山者の靴について種が運ばれるのではないかと考えられています。

みつけた場合は抜き取り作業などでこれ以上の分布をひろげないように注意しています。また、登山者には入山する前に靴の土を落とすなどの配慮をしてもらっています。



在来種との見分け方

セイヨウタンポポは背が高く穂苞片が反り返っているのに対し、在来種のタンポポは背が低く穂苞片が反り返っていません。



エゾタンポポ

こんなに違うのね。
大雪山周辺のエゾタンポポを
探してみるのも
楽しいかも！



セイヨウタンポポ



他にもこんな生きものが 目撃・発見されています。

外国から人為的に持ち込まれ大雪山周辺に
放たれ発見された生きものたちがたくさんいます。

オオカナダモ

南アメリカ原産で実験用に持ち込まれ、大繁殖した。アナカリスという名前で観賞用にも販売されていたが、悪条件にも強く飼育しやすい。



アライグマ

ペット用としてアメリカから輸入されたが遺棄や逃亡などの理由で野生化した。農作物などに被害を及ぼしている。また、狂犬病に感染している可能性があるため注意が必要。

ウチダザリガニ

アメリカ原産の大型のザリガニ。ニホンザリガニとの巣穴を巡る競争やニホンザリガニの捕食が懸念されている。



カミツキガメ

アメリカ原産でペットとして輸入された。逃げ出したものや飼いきれなくなった人が遺棄したとみられる。在来生物の捕食や人への噛みつきが心配されている。



セイヨウオオマルハナバチ

ミツバチに近い仲間のマルハナバチは花の蜜や花粉をとります。花は蜜や花粉をあげるかわりに受粉を助けてもらう良い関係です。もともと北海道には11種のマルハナバチが生息し、それぞれ好きな花があり、それに適応した体型となっています。しかし、セイヨウオオマルハナバチは花の根本に穴を開けて花粉を運ばず蜜だけを飲む「盗蜜」を行います。在来種に花粉を運んでもらっている希少な花たちも影響を受けています。また、競争能力が高いため営巣場所やエサを巡る在来のマルハナバチとの競争で在来種を駆逐してしまう可能性や、交雑により在来のマルハナバチの繁殖を妨害する可能性が示唆されています。



放っておくとどうなるの？



セイヨウタンポポ

セイヨウタンポポは花粉に関係なく種子をつくれ根の切れ端からも再生するなど繁殖力が強く、在来植物を追いやってしまう恐れがあります。在来のマルハナバチに受粉を頼っているエゾオヤマリンドウなどの高山植物は、セイヨウオオマルハナバチによって受粉できずにセイヨウタンポポに生育場所を取られてしまう可能性もあるのです。

セイヨウオオマルハナバチを みつけたら...

向かってきて刺すような攻撃性はありませんが注意をして捕獲します。虫網でしっかり捕まえた後に、網の上に引き上げます。クリップや洗濯ばさみなどを活用して、網を直接手でつかむことのないよう注意してフィルムケースやペットボトルを利用し閉じ込めます。

刺されてしまったら、慌てず口で毒を吸い出して、患部を搾るようにしながら流水で毒を流し、必要に応じて医療機関を受診しましょう。



外来生物

捕獲はこのように
行われています。

外来生物が増えても 私たちには関係ないんじゃない？

生物多様性という地球上には自然の中にそれぞれの環境に適応した3,000万種ともいわれる多様な生きものが生息し、お互いのバランスを保ちながら生息しています。外来生物が野生化することで今まで保たれていたバランスが崩れると環境が変化してしまうのです。水や食料などをはじめとした自然に根ざした文化など私たち人間の生活にも密接に関係してくるのです。

特定外来生物を捕まえても絶対に してはいけないこと



野外に放つ



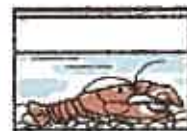
譲渡・販売

外来生物法があり飼養・栽培・保管・運搬などが原則禁止されています。規制している行為を破ると罰金や懲役が科せられる場合があります。

不正に輸入をしたり、逃がしたり、売買した場合、最高で懲役3年、罰金300万円。法人なら1億円の罰金が科せられる場合があります。



運搬



飼育



栽培



輸入

セイヨウタンポポを みつけたら...

移植ゴテなどを使用して根を切らないように抜き取ります。すこしでも根を残すとそこからまた生えてきます。抜き取ったものは袋に入れて処分します。

国立公園内などでは各種手続きが必要となりますのでご注意ください。



外来生物をみつけても
無理に捕獲しようとはせずに
自然保護官事務所などにご連絡ください

